

平成31年1月17日

総務文教委員会

阿久根市議会

- 1 会 議 名 総務文教委員会
- 2 日 時 平成31年1月17日(木) 10時29分開会
10時36分閉会
- 3 場 所 第1委員会室
- 4 出席委員 大田重男委員長、濱田洋一副委員長、渡辺久治委員、
西田数市委員、竹原恵美委員、濱之上大成委員
- 5 欠席委員 木下孝行委員
- 6 事務局職員 議事係長 牟田 昇
- 7 会議に付した事件
・請願第1号 阿久根市による「障がい者青年学級」開設に関する
請願書
- 8 議事の経過概要 別紙のとおり

審査の経過概要

○請願第1号 阿久根市による「障がい者青年学級」開設に関する請願書

大田重男委員長

ただいまから、総務文教委員会を開会いたします。

継続審査となっている請願第1号を議題とします。本日は今後の調査についてお諮りするものです。前回の委員会で、資料を集めた上で検討するとのことでありましたが、事務局で調査を行ったところです。

調査範囲は九州内でありましたが、その結果について報告してもらいます。

牟田事務局次長

今回、インターネットなどにより九州管内の主要市における生涯学習事業及び計画、福祉計画等を調査いたしました。

九州内における青年学級活動状況調べという資料をごらんください。

今回、調べた中では、自治体が直接青年学級等を開設している事例は見つかりませんでした。

初めに、福岡市では、教育計画の特別支援教育の推進の中で、特別支援学校卒業生の学習交流事業、いわゆる障がい者青年学級が明記されております。

生涯学習の一環としてありますが、所管する生涯学習課から福岡市立の特別支援学校にその事業が委託され、実施されているもので、実態としては当該学校の卒業生を主に対象とした事業のようです。

次に、熊本市手をつなぐ育成会は、青年学級を昭和41年に開設され50年以上の歴史があるようです。運営主体は社会福祉法人である手をつなぐ育成会が行い、市内及び近隣に居住する方が対象となっております。長い実績があるため、その運営方法、活動方針等は大変参考になるものと考えています。

ほかでは、大分県において実施されていることが確認できていますが、いずれも特別支援学校が主体となっており、福岡市と同様に若干今回の請願趣旨にはなじまないのではないかと考えます。

また、前回の委員会でさつま町も紹介されたが、本市の青年学級と同様に保護者による運営主体であり、主な活動は、知的障害のある方々による様々なスポーツ活動であるスペシャルオリンピックに参加するための練習であり、さつま町にお聞きしたところ、町としての直接のかかわりはないと聞いております。

以上が調査した結果であります。今回の請願趣旨にあるような青年学級に対する本市のかかわりをどのように見出すことができるかを調査するならば、まず長年の活動を行っている熊本市手をつなぐ育成会の活動等を調査の上で、行政が行なえること、行うべきこと、またその効果や、保護者との連携のあり方などを見出した上で、執行部の意見を聞いたほうがよいのではと考えております。

なお、別紙で熊本市手をつなぐ育成会の簡単な資料を付けておりますので、御参照いただければと思っております。

また、先走りになるかもしれませんが、先方にスケジュールだけ聞いたところ、2月の第

2週目は担当者の不在等あって難しいが、1月29日から2月1日であれば可能であると伺っているところです。

大田重男委員長

次長の説明が終わりました。

それでは、各委員の御意見をお願いします。

濱之上大成委員

その日程をもし確認するとしたら、1月29日から2月1日なら向こうも空いていることで理解していいですか。とりあえずそこに行ってみたらと思います。行けるのであればですね。

大田重男委員長

皆さんはどうですか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

それでは、先進事例として、熊本市手をつなぐ育成会における「つなごう会」を調査することに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認め、そのように決めました。なお、調査期日が、先ほどありましたように、1月29日から2月1日の期間で調査が受け入れられるとのことですが、2月1日はいかがでしょうか。

[発言する者あり]

よろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

では、御異議ありませんので、調査日は2月1日で決定させていただきます。

ほかに皆さんからありませんか。

竹原恵美委員

事業主体のことなんですけれども、陳情の希望のとおりというわけにはいかないようでもありますので、最終、次の議会のときに取り扱いをすることになっておりますが、そのときには提案者に対して話せるもの、情報なども一緒に集める、要望のとおりにしたいというのはどうであるかというのはよく見ていく必要があるだろうとは思ったところです。考え方がまったく違うことも。

大田重男委員長

よろしいですか。

ほかに皆さんの意見がなければ、以上で総務文教委員会を散会いたします。

(散 会 10時36分)

総務文教委員会委員長 大 田 重 男